

# 内科学〈糖尿病・代謝内科分野〉

## 担当指導医師

### ●本院

教授：佐藤 譲

准教授：高橋 和眞

講師：高橋 義彦、武部 典子、種市 春仁

助教：梶原 隆、長沢 幹、本間 博之、笹井 賢良

非常勤講師：佐々木 正孝、横島 孝雄、引地 勲

### ●附属花巻温泉病院

助教：高橋 徹

## 基本方針：

1. 内科疾患における糖尿病・脂質異常症など栄養・代謝疾患の占める割合は多く、今や生活習慣病として大きな社会問題となっている。これら日常診療で頻繁に遭遇する栄養・代謝疾患の症状・病態を理解し、精神的・社会的背景にも適切な対応ができるようになるため、医師として必要な栄養・代謝疾患の基本的な診察能力（態度・知識・技術）を修得する。
2. 実際の臨床実習を行う上では、医療に直接参加しているという認識を持ち、特に糖尿病治療におけるチーム医療の重要性を認識する。また、より良い患者－医師関係を得るために、身なり、挨拶や言葉づかい、患者のプライバシーへの配慮を含めた接し方を体得する。

## 実習内容：

1. 指導医とともに日常の医療行為に積極的に参加してもらう。外来では、指導医の新患・再来・特殊外来日に参加し、病歴聴取、診察法ならびに診断手順などについて学ぶ。病棟では指導医とともに患者を受け持ち、また、担当グループミーティングに参加して、病歴聴取、診察、各種検査を通じて医師として必要な医学知識と技術の習得に努める。
2. 教授回診・症例検討会に参加する。
3. 医局会に参加する。
4. 病歴の作製と理学的診断法  
患者より問診にて糖尿病・代謝疾患の可能性を考え病歴を聴取し、カルテへの記載を行う。また、病態を正確に把握するため全身にわたる身体診察、精神的社会的背景の診察ができるようにする。
5. 検査・診断・治療法の理解
  - (1) 糖尿病
    - 1) 病態の理解
    - 2) 概念と病型分類
      - ①インスリン分泌不全

- ②インスリン抵抗性
- ③1・2型糖尿病
- ④その他特定の型の糖尿病
- ⑤妊娠糖尿病
- 3) 診断に必要な検査項目
  - ①空腹時・随時血糖
  - ②75gOGTT の意義とデータの読み方
  - ③血清インスリン
  - ④血中・尿中Cペプチド測定の意義
  - ⑤糖尿病の診断基準
  - ⑥二次性糖尿病を見逃さないための注意点
- 4) 治療方針のたて方
  - ①合併症の検索（眼、腎、神経、心、脳、他の疾患）
  - ②標準体重の算出法
  - ③食事療法（摂取エネルギー量の決め方、食事内容の決め方、栄養素の配分、コレステロール摂取量、蛋白制限）
  - ④運動療法の指導演法
  - ⑤薬物療法：経口血糖降下薬（SU薬、グリニド系薬、DPP-IV阻害薬、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬、インスリン抵抗性改善薬、BG薬）、GLP-1アナログ製剤、インスリン（各インスリン製剤の特徴の理解、使い分け、強化インスリン療法、他の薬物との併用療法など）
  - ⑥合併症治療薬の特徴と使用法
  - ⑦糖尿病性昏睡の鑑別と治療（高血糖高浸透圧性昏睡、ケトアシドーシス昏睡）
- 5) 治療上の注意点
  - ①血糖コントロールの方法と注意点
  - ②低血糖症状の理解、患者への説明、対応の方法
  - ③sick day への対応
  - ④Dawn phenomenon、Somogyi 効果
  - ⑤インスリン sliding scale 法の使用法
  - ⑥急激な血糖コントロールによる合併症の悪化（網膜症の増悪、治療後疼痛性神経障害など）
  - ⑦多剤併用時の注意点
  - ⑧血糖コントロールの指標とその読み方（空腹時・随時血糖値、血糖日内変動、HbA<sub>1c</sub>、グリコアルブミン、1,5AGなど）
  - ⑨合併症の検査の意義と読み方（尿中微量アルブミンなど）
- 6) マスターすべき手技
  - ①簡易血糖測定器の使い方（血糖自己測定）
  - ②ペン型インスリン注射器の使い方
  - ③神経障害の診断法
  - ④体脂肪計の使用法
- (2) 脂質異常症
  - 1) リポ蛋白を中心とした脂質代謝を理解する

- 2) 分類・病型を理解する
- 3) 脂質代謝関連検査の理解（血清脂質、アポ蛋白、リポ蛋白電気泳動、Lp (a)、RLP-C など）
- 4) 脂質異常症の病的意義を理解する
- 5) 高脂血症の治療開始基準を理解する：基礎疾患（例えば家族性高脂血症など）、年齢、性別、その他の動脈硬化危険因子を合併した場合について
- 6) 続発性高脂血症の診断（糖尿病、甲状腺機能低下症、ステロイド剤使用時など）
- 7) 治療の実際
  - ①食事指導の指示（エネルギー、コレステロール摂取量、P/S 比）
  - ②運動療法
  - ③薬物療法（各製剤の薬理作用、作用機序、副作用の理解）

### 授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	個数	使用目的
実習用機械	血糖簡易測定器	3	血糖自己測定の指導
実習用機械	ペン型インスリン注射器	3	インスリン自己注射の指導
診断用機械	打腱器	3	神経障害の診断
診断用機械	音叉	3	神経障害の診断
視聴覚用機械	プロジェクター	1	講義
視聴覚用機械	プロジェクター (EMP-1710)	1	講義
視聴覚用機械	パソコン一式 (PC-MY26XRZEDSB1 他)	2	臨床実習における症例検討用資料作成
視聴覚用機械	パソコン一式 (CF-R6MW4AJR)	1	講義
視聴覚用機械	ノート型 PC (I-Book G4)	1	臨床実習における講義
視聴覚用機械	ノート型 PC (BIBLO FMVNB55H)	1	臨床実習における講義、データ整理
その他	小型電極式血糖測定機器 (81483303)	1	臨床実習における血糖測定
その他	ノートパソコン (M9848J/A)	1	講義資料作成等
その他	ノートパソコン (PowerBookG4M9970J/A)	1	講義資料作成等
その他	パソコン (VGCLB51)	1	講義資料作成等
その他	パソコン一式 (FMV-C8220)	1	講義資料作成等
視聴覚用機械	パソコン (Mac Book Air 13 ｲﾝﾁ)	1	講義
視聴覚用機械	プロジェクター (EMP-1825SP)	1	講義
視聴覚用機械	パソコン (CF-W7dWJNJR)	1	講義
実習用機器	カラーレーザープリンター (LBP9500C)	1	臨床実習における講義・討論用
実習用機器	液晶テレビ (LC-46DX3)	1	臨床実習における講義・討論用
実習用機器	複合機 (imagio MP 2550F)	1	臨床実習における講義・討論用